

令和4年度 第3回合同研修会会議 議事録		記録	中島晋太郎
開催日時	令和4年 8月1日(月)	13:30~14:45	
場所	中央保健所		
参加者	(出席者) ひきこもり地域支援センター: 滝井様 MSR: 坂元 中川 市CM協: 中島		
検討議題	<p>ひきこもり地域支援センターとの初顔合わせおよび研修内容についての打合せ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介の実施 2. 研修依頼確認書に沿って、滝井氏に中川より説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修日時について、10/21 13:30~16:30 了承を得る。 ・ 先方は境教授についてよくご存じであった。 ・ 研修依頼確認書のテーマ、内容について了承いただく。 ・ 8050 問題へ内容を寄せてもらう。 3. 事例について <ul style="list-style-type: none"> ・ ① 90代親御さんからの相談、60代息子が引きこもり、関係づくりは非常にゆっくりであった。訪問していたが進展がなく、手紙を定期的を送付したところ、本人が訪問され相談できるとようになった。両親は大変お元気で支援の必要はなく、息子を全面的に支援している。息子は診断は無いが何らかの障がいを持っている可能性はある。地域包括支援センターへ相談しているところ。 ・ ② 90代女性に対して、20代孫が足を引っかけるなどのちょっかいを出す。孫の母親からの相談あり。地域包括支援センターへ相談中。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 事例については、個人情報保護と本研修向けに脚色する。 ※ グループワークは、(1) この事例のいいところ、できているところ (2) こんな支援があると良いと思う点を挙げる。 4. ひきこもり地域支援センターの講義内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容、宮崎県相談件数(1606件/年)、相談者の特徴 ・ 専門職としての関わり方、コミュニケーションの取り方 など <ul style="list-style-type: none"> ※ 境氏と内容調整する必要あり。 5. 研修構成について <p><180分構成></p> <ul style="list-style-type: none"> 1部: 境氏の講義 60分 <ul style="list-style-type: none"> 休憩 10分 2部: ひきこもり地域支援センター: 15分 <ul style="list-style-type: none"> 事例① 35分 <ul style="list-style-type: none"> (事例紹介5分・個人ワーク5分+グループワーク15分) ・ 2つのグループ発表・境氏助言・センター講師助言10分) 休憩 10分 3部: 事例② 35分(事例①と同じ時間配分) <ul style="list-style-type: none"> まとめ・質疑応答 15分 		

	<p>6. 依頼文書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひきこもり地域支援センター滝井氏より中川へ所長と講師の氏名をメール。その後、MSR より依頼文書を郵送する。 <p>7. 謝金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>8. 今後の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月上旬：(コロナ感染が落ち着いたころを目途に) 合同会議を開催進捗について確認、事例内容について協議、研修の目的を再確認 ・ 9月下旬：ひきこもり地域支援センターと境氏を交えた事前打ち合わせ ・ 境氏に、事例を選択してもらう。決まった事例の提出は1週間前で提出 <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>次回役員 会予定</p>	<p>〈次回の打合せ〉 9月上旬：合同会議、場所：花山手社協 2 階応接室</p>